学校番号	４１６

令和３年度　芸術科［美術］

教科	芸術	科目	美術Ⅲ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	高校生の美術３　（日本文教出版）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・美術ⅠⅡで学んだことを生かし、デッサン・スケッチ・水彩画・油彩画等の作品制作に取り組みます。
・自然や自分自身、世の中のことに関心を持ち、感じたことや考えたことを作品に反映させることを目指すとともに、今まで学んだことを生かして自分なりの作品過程を考え取り組んでいく。
・自分のよさを発見し、美しさを感じ取る完成を高め、表現する楽しさや作品の完成の喜びを味わいます。

２　学習の到達目標

いろいろな表現形式による絵画表現に関する学習を通して表現と鑑賞の能力を高める。
様々な作家の作品を通して、自らにふさわしい表現方法を発見する。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:美術への関心・意欲・態度	b:発想や構想の能力	c:創造的な技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	美術文化を尊重し、主体的、創造的に美術の学習に取り組もうとする。	感性や想像力を働かせて感じ取ったことや考えたことなどを基に豊かに発想し、よさや美しさなどを考え、創造的・機能的で個性豊かな表現の構想を練っている。	創造的な表現活動をするために必要な造形感覚や専門的な技能を身に付け、表現方法を創意工夫して表現している。	美術作品や文化遺産、美術文化などについて理解を深め、感性や想像力を働かせて価値や美意識を感じ取り、創造的に味わっている。
評価方法	制作の様子 ワークシート 鑑賞活動の様子	アイデアスケッチ 制作途中の作品 作品	制作途中の作品 作品	ワークシート 発言内容

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	オリエンテーション	【鑑賞】 オリエンテーション 学習内容について	○			○	a:学習内容に関心を持ち学習の意欲を高めている。 d:絵画作品のよさや美しさを感じ取り理解を深めている。	学習活動の様子 ワークシート
	デッサン	【絵画】 デッサン 3つのモチーフを構成して描く	○		○	○	a:デッサンについて理解し、主体的に取り組もうとしている。 c:構図・形態の把握・明暗・質感に注意して表現できている。 d:お互いの作品について理解を深めている。	制作の様子 作品
	クロッキー	【絵画】 人物クロッキー	○		○		a:クロッキーについて理解し、主体的に取り組もうとしている。 c:必要な技能を身に付け、表現できている。	制作の様子 作品
2学期	着彩	【鑑賞】【水彩画】 水彩画の作品を鑑賞する 透明水彩の使い方 モチーフを構成して静物を描く	○ ○ ○		○ ○	○ ○	a:水彩画の表現に関心を持ち、自己の作品に生かそうとしている。 c:透明水彩の特性を生かし、表現方法を工夫している。 d:よさや美しさを感じ取り、お互いの作品について理解を深めている。	制作の様子 作品
	選択制作	【絵画】【水彩画】【油彩画】 デッサン・着彩・油彩から選択して制作	○	○	○	○	a:題材を選択し、主体的に取り組もうとしている。 b:自らテーマを決め、構想を練っている。 c:画材に応じた表現方法を工夫している。 d:表現の工夫などを感じ取り、お互いの作品について理解を深めている。	制作の様子 作品
3学期	木のカトラリーづくり	【彫刻】 木彫でカトラリーをつくる バターナイフ・スプーン カッティングボード等から 選択して制作	○	○	○	○	a:何を作るかから考え、主体的に取り組もうとしている。 b:美と機能性を両立し、デザインの構想を練っている。 c:糸鋸・のみ・彫刻刀の使い方を習得し、表現方法を工夫している。 d:よさや美しさ、表現の工夫などを感じ取りお互いの作品について理解を深めている。	制作の様子 アイデアスケッチ 作品

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
c:技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。